韓国がクルーズ誘致強化 5大寄港地に異なる魅力

韓国観光公社（KTO）は日本のクルーズ市場の盛り上がりを受け、客船会社や旅行会社と提携して韓国へのクルーズ寄港の誘致を強化する。港ごとに異なる観光要素がある多彩な寄港地が最大の魅力だ。

韓国を代表するクルーズの5大寄港地は釜山、済州、麗水（ヨス）、束草（ソクチョ）、仁川で、その地域ならではの文化や料理、祭りとそれぞれに違った魅力を持つ。韓国は国を挙げてクルーズ客の誘致に取り組んでおり、20年には日本発着クルーズでの寄港が続々と計画されている。

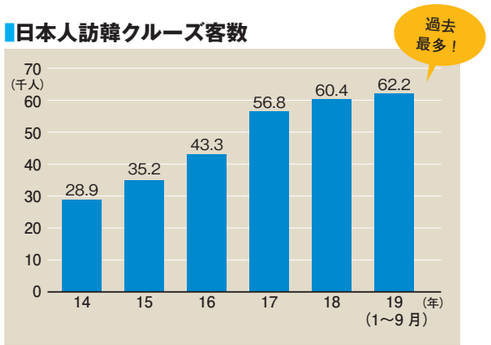
まず真っ先に挙がるのは、韓国最大の港町・釜山。龍頭山公園（ヨンドゥサン）にある釜山タワーや海に突き出た青沙浦（チョンサポ）石橋展望台、海岸絶壁に建つ龍宮寺（ヨングンサ）などから海を眺めるのもよい。グルメも充実しており、チャガルチ市場では海の幸、BIFF広場や富平（プピョン）カントン市場では屋台料理を楽しみたい。エイチ・アイ・エス（HIS）はクルーズプラネットとサン・プリンセスをチャーターし、8月10日発の6泊7日クルーズで寄港する予定だ。

韓国最大の火山島である済州。ユネスコ世界自然遺産に登録されている世界最長の溶岩洞窟の万丈窟（マンジャングル）をはじめ、温帯の動植物が共存する漢拏山（ハルラサン）国立公園、海岸絶壁に沿った雄大な景観の城山日出峰（ソンサンイルチュルボン）など見どころが豊富だ。年間平均気温が16度と一年中暖かく、山と海の両方の幸に恵まれている。代表格は黒豚とアワビ。ジャパネットサービスイノベーションが4～6月にMSCベリッシマで計5本、JTBがコスタ・セレーナによる5月1日発5泊6日でチャーターでの寄港を計画している。

夜景が美しいと評判の麗水や江原道（カンウォンド）の東海岸に位置する束草にも目を向けたい。麗水は観光スポットが港周辺に凝縮されており、12年に世界博覧会（万博）が開催されたことでも知られる。客船ターミナルの近くに水産市場があり、刺身やしゃぶしゃぶなどさまざまな調理法で味わうハモや白菜入りウナギスープなど、独自の料理が楽しめる。マジェスティック・プリンセスは4～5月に計2本、台湾発着で麗水と日本を組み合わせた3カ国クルーズの寄港地に組み込んだ。一方、束草は、春は桜、秋は紅葉が美しい名山の雪岳山（ソラクサン）を擁し、ケーブルカーからも絶景が望める。江原道の豊かな自然環境で育った松茸も味わいたい。このような江原道の魅力にいち早く着目したコスタクルーズは20年6～7月にコスタ・ネオロマンチカでロシアと日本を組み合わせた3カ国クルーズの寄港地に束草を組み込んだ。

KTOは、船社には韓国体験イベントなどテーマ性を持った船内公演プログラムや入出港時の歓送迎イベントなどを提供する。旅行会社へは、寄港地観光案内通訳ガイドの斡旋や募集広告支援などを行う。クルーズ誘致支援をより一層強化する。

日本人訪韓クルーズ客数



海洋都市麗水の主要観光名所は、港から徒歩15分圏内に集約されている

Cruise Korea

あなたが夢見る航海、韓国クルーズ

特別な旅を夢見るなら、韓国のクルーズへ。
多彩な魅力に満ちた韓国の寄港地での旅は、
映画のようなひとときへと誘います。
五千年の歴史を抱いた伝統と、世界を熱狂させた韓流、
四季の美しい風景の中で、映画の主人公になってみてください。

Imagine your Korea

KOREA TOURISM ORGANIZATION